

(様式3)

令和7年度 みんなが主役！しまねの公民館支援事業 実績報告書

市町村名	大田市	公民館等の名称	大森まちづくりセンター
事業の目的	高齢化する地域住民と移住者が共に集い・楽しめるイベントを若者が中心となり企画実施し、同じ地域で働くための関係性を高める。世界遺産の町に愛着をもって働いてもらえるよう郷土の歴史を学び伝える。2年後の記念年に向け、集いの輪を広げ地域活性化を目指す。		
事業の実施期間	① 1年目 2年目		
事業の内容	<p>○事業の対象 この町で働く人・住む人・関わる人のうち20代～40代の若手を中心に、昨年実施した次世代参画事業参加者を中心に輪を広げ、新たな移住者・関係者を巻き込んで事業を実施する。</p> <p>○活動の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月13日 昨年同様『おおもりサラダボウル』継続企画にて、新たな仲間づくり・人づくりのため異業種交流の名刺交換会を実施した。参加者はワークショップを通じて関係性を築いた。その会にて、来る7月1日の世界遺産登録記念日の『前夜のマルシェ』企画への参加を促し当日スタッフとなれる方や、出店する方など参加者を集った。 ・7月1日 『前夜のマルシェ』では、サラダボウルの仲間企画出店してくれた方、スタッフとしてお手伝いしてくれた方、知人友人に声掛けし参加してくれた方、たくさんの人の協力によって企画は大変好評で盛り上がり、多くの方集って楽しんでもらうことが出来た。協力者と振り返りの会も行い、次年度以降も今年の反省点を考慮して継続していく意思確認を行った。 ・10月10日 参加者の希望企画として、『美味しい挽きたてコーヒーを淹れてみる会』を実施した。コーヒー講師による特別講義を受け、グループに分かれてドリップコーヒーに挑戦した。その後、自分で淹れたコーヒーをお気に入りのマグカップに注ぎ外に移動し、秋の夜空の下、虫の音の聞こえる会場で『おとなのためのよみきかせ』も実施してとても穏やかな癒しのひと時を過ごした。参加者から、とても良かったとの感想や継続開催希望があり、仲間を増やすツールとして今後も行いたいと感じた。 <p>○関係機関との連携（他館、他部局、公民館担当課との連携等についてお書きください） 同ブロックのまちセン、高山みらいの会、大田未来むすびコーディネーター担当者、市役所担当課、国際交流員など多くの方々に広報活動、スタッフ、参加協力をいただき、新たな連携の取組が出来た。</p>		
活動の様子などを周知した方法	<p>① 館報</p> <p>2 公民館ホームページ</p> <p>③ SNS</p> <p>④ その他（具体的に サラダボウル参加者からの口コミ）</p>		
成果・効果課題 今後の見通し	<p>本事業により人づくりの輪が広がり、地元住民と近隣の町村に住む方々との連携や担当課等との連携により、世界遺産石見銀山遺跡を伝え繋いで行く交流の場を設けることが出来た。老若男女が集い楽しむことで、移住者にも魅力ある町をアピール出来た。継続的に若者の集う場を設けることで、まちづくりに興味を持ってもらい運営側として参加者を引き込む動きが出来た。振り返りの会にも参加してもらうことで一緒に場を創る意識を育めた。国際交流員との連携で異文化交流も生まれた。マルシェは『動』のイベント、コーヒーは、『静』のイベントで、緩急のある内容に参加者の次回への期待の声と意欲に繋げることが出来た。</p>		

令和7年度 みんなが主役！しまねの公民館支援事業 報告写真

6/13 おおもりサラダボウル 10/10 ドリップコーヒースクール



名刺交換会



アイスブレイク 日本の世界遺産ビンゴ



ドリップコーヒーのワークショップ



交流タイム

7/1 前夜のまるしえ



マルシェ会場全体の様子



石見銀山 VR 体験



おおもりサラダボウル参加者による出店



10/10 ドリップコーヒースクール



アイスブレイク「動物あてゲーム」



ドリップコーヒースクール



講義内容を実践する参加者たち

それぞれお気に入りのマグカップを持ち込んでもらい、そこにコーヒーを淹れて特別な一杯を仕上げました



大人のよみかせタイム（前庭にて）



秋の夜の空気を感じながらコーヒーと共に交流タイム